

「無駄はさせない！高コスパ・監査論後略メソッド」

監査論講師 岡田健司

1. 公認会計士試験論文式試験における「監査論」のポジション

- 700 点満点中 100 点、2 問構成、各 50 点
- 大問 1：純理論問題、大問 2：事例問題
- 科目の特徴
 - ・ マニアックな研究者、百戦錬磨の実務家が問題を作成
 - ・ 実務は千差万別であり正直言って出題予想はできない
 - ・ できた！書けた！という感触を体感的に得づらい科目
 - ・ 非常に差がつきやすい科目
 - ・ ある程度の日本語の読解力が必要な科目
 - ・ できる人はできるし、できない人はできない科目
 - ・ できる状態になったらその後あまり伸びにくい科目（ただし、安定する）

2. 直近の本試験の状況と傾向

- 直近の監査論の出題傾向
(総括)
 - ・ 実務色が色濃くなり、難しい問題が際立っている。予備校の裏をかいてくる。
 - ・ テキストになく、法令基準集を検索しなければ正答できない問題の出題が見られる。

(参考) 直近 2 か年の出題実績

	大問 1	大問 2
R4	(難易度：普通) ・ リスク・アプローチ ・ 重要性の基準値 ・ 統制リスクと運用評価手続	(難易度：超難) ・ 四半期レビュー報告 ・ 訂正報告書に対する論点（契約手続、第 3 者委員会の利用、追記情報）
R3	(難易度：難) ・ KAM と監査報告	(難易度：やや難) ・ グループ監査 ・ 監査手続についての判断

3. 私が考える対策法

- ・入門期、はじめのとっかかりで監査論にこういったイメージを持っているかが大事。
- ・もし監査の全体像（契約～計画～実施～報告）が頭にイメージになく、全体像のなかで各論点を位置づけられていないのであればまず勉強方法の見直し（リセット）が必要。

○ 合格に必要な力

- ・問題文を正確に読み取り出題者の意図を読み取る力（**読解力**）
- ・上記の問いに解答の骨子を「テキスト or 監基報」から抜き出してくる力（**引出力**）
- ・法令基準集を検索できる力（**検索力**）
- ・解答の骨子をつなげてまとめる力（**記述力**）
- ・これらを総合した「**現場で考える力**」を身に着けてほしい

○ 合格に不要なこと

- ・曖昧な知識、不正確な知識は有害！（一定の暗記は必ず必要！）
- ・膨大な量の教材は不要！（6科目もありこなせない、中途半端にやるな！）

○ 2023 年論文対策講義のコンセプト

- ・基本的に、むやみやたらと情報提供することに意味はない、という前提で進めます。
- ・小手先ではない「考える力」を身に着けてもらいます。
- ・効率性のために、「暗記が必要な箇所」とそうではない個所を線引きします。
- ・契約～計画～実施～報告と通常の実務の流れにそって横串に論点を解説します。
- ・法令基準集の検索能力を身に着けます。
- ・必要な範囲で JICPA「監査提言集」の要点・ポイントを紹介します（←**New !**）。
- ・TAC の論文対策の標準教材も大幅に変わるので乞うご期待！（←**New !**）。

4. 皆さんへの問いかけ（自問自答してください。）

- 監査実務の3段階の流れは？（→言えなければ勉強方法の見直しが必要）
- 監査の目的は？（→言えなければ暗記が不足）
- 四半期レビューの目的は？（→同上）
- リスク評価手続は何のために実施するの？（→言えなければ勉強方法の見直しが必要）
- 監査計画とリスク評価手続の関係は？（→同上）
- リスク評価手続とリスク対応手続の関係は？（→同上）
- 監査契約の問題が出題されたらどの監基報参照する？
- 不正リスク対応基準は法令基準集にはまったく掲載されていない？

5. これからのリスタートのための提案

(全般)

- 講師に相談しに行こう！（論文生の場合は、開示請求答案と得点も忘れずに。）
- なぜ合格できなかったのか、徹底的に自己分析し、謙虚に自分と向き合おう！
- 効果のする勉強をしているか、謙虚に自問自答しよう！
- もしできていないのであれば、まずは勉強方法の確立からはじめよう！

(監査論)

- TAC から与えられている教材で必要十分！信じて！
- 網羅的な情報が与えられてもそれを消化できなければ単なる自己満足、意味がない。
TAC の教材は効率的に学習するために必要十分なところを取捨選択しています。
- 監査の流れ（3段階、計画～実施～報告）を常に意識した学習をしてください。
- 個々の単元の学習の際には上記の流れのどこかポジションを確認してください。
- ポイントや骨子を一言二言で要約して伝える癖をつけてください。
- 暗記する箇所とそうでないところを明確に区別しながら効率的に学習してください。
- 法令基準集の読込みは不要！ただし、企業法の六法と同じように位置づけてください。
- 2022 年目標だった方は 2023 年目標に必ずシフトしてください。
- テキストと心中する気持ちでテキストに情報を一元化してください。
- 最終的にはテキストで目次学習するような計画を立ててください。
- 最初は闇雲に暗記するのではなく理解を徹底してください。
- 日頃から「なぜなぜ」と考える癖をつけてください。
- 自分の理解の程度を確かめるために講師をうまく活用してください。
- 事例対策はし過ぎてもコスパが悪い。典型問題の対策以上は不要です。
事例は所詮個々の個別問題を組み合わせた総合問題。個別論点の積上げが大切です。
- TAC を信じて改めてリスタートを切ろう！

以上